



高西小だより

H25, 9, 26(木) 校長:古屋 NO9

学校教育目標

夢を切り拓く

心豊かで

たくましい子ども

先日の台風18号の通過後に、とても爽やかな秋の風を感じましたが、今回の20号の通過に伴い、さらに肌寒い程の本格的秋の気配を感じるようになりました。

さて、いよいよ秋季大運動会があさってと間近になりました。保護者の皆様には、これまで水筒や体育着、タオル等においてご配慮頂きまし本当にありがとうございました。子どもたちは、これまで約2週間にわたる運動会特別日課において、各学年や各組、係活動で一生懸命に取り組んできました。そして、ここ数日は、本番が近くなるにつれて気持ちの高まりや団結の強さを感じるようになってきました。あさっての本番では、きっと素晴らしい演技を見せてくれるものと思います。どうぞ、子どもたちの頑張りや成長した姿をご覧下さい。保護者の皆様やご家族の方をはじめ、多くの方々のご来校をお待ちしています。

燃える四色！ 運動会直前情報！

テーマ ～心の絆でふみだせ勝利の第一歩！～

◎印は得点種目

☆入場行進開始 8:30～ ○開会式

1 ラジオエクササイズ(ラジオ体操第1 全員)

2 エアロビ「ライジングサン」(全校表現)

◎ 3 走れ 炎のランナー(中学年リレー)

◎ 4 バトンをつなげ ばんばんばん(低学年折り返しリレー)

◎ 5 トップアスリート◇ラン◇(高学年リレー)

6 はしって おぶって ばんばんばん(2年親子競技)

7 おたからゲットだぜ！(来入児種目)

8 よお～く ねらって(4年親子競技)

9 にんじゃり ばんばん(低学年表現)

◎10 ファイトで ゴー(高学年競争競技)

11 デカパン ばんばん(1年親子競技)

12 ロック 花笠 2013(中学年表現)

◎13 協力の◇チャンスボール◇(全校たてわり競争競技) 息を合わせて(高学年表現)

14 ボール宅配便(5年親子競技)

◎15 みんなでひっぱれ！(綱引き予選)

☆昼休み 11:30～12:30 ○午後の部 12:30～(予定)

1 GUTS 2013(高学年表現)

2 GB(ジーバー)ナイス(長寿会競技 1年生参加)

3 応援合戦

◎ 4 せーのでい～っほ！(中学年競争競技)

5 あっち こっち どっち？(6年親子競技)

◎ 6 ねらってねらってばんばんばん(低学年競争競技)

7 親子でシュート(3年親子競技)

◎ 8 みんなでひっぱれ！(綱引き決勝)

◎ 9 むらやまりレー2013(四組対抗リレー)

10 高根音頭(全員)

11 おわりの体操(ストレッチ)

☆閉会式 15:00～(予定)



きゃりーばみゆ

ばみゆの曲にのって

(低学年表現)

ロックのリズムで

(中学年表現)



応援合戦(黄組)



(青組)



(赤組)



(緑組)

～今年もお願いします！～

○高西小PTAの取り組みとなっていますので、是非ともご協力をお願いします！

1. 駐車場は、保育園東とプール南・東の駐車場です。
2. 敷地内禁煙です。西小では、喫煙場所を「決められた場所での喫煙」のみとなりますのでご協力をお願いします。
場所は、校舎西側の出入り口と体育館東の2か所のみです。
3. 禁酒にご協力をお願いします。運動会は学習発表会の場となっています。

係活動は運動会成功のカギを握っています！（24日の活動の様子）

運動会の係活動は、4～6年生が行います。放送係、準備係、審判係、出発得点係、進行招集係、教護係、応援係があり、各係ともよい運動会にしようと気持ちを1つにして練習を行っています。



アナウンスは運動会を盛り上げます。



準備係は機敏な動きが大事です。



順位には特に気をつかいます。

おいしい枝豆でした！（4年生）

20日（金）、大豆作りをしている4年生が、食べ頃となった大豆を茹でて枝豆として食べました。今回も指導して頂いたのは北杜市の食と農の杜づくり課の方と営農たかねの方々でした。

今年大豆の出来具合は、夏の小雨の関係でだいぶ遅れているそうです。4年生が育てている大豆もまだ食べられる生育状態ではないので、営農たかねの中村さんに用意して頂きました。家庭科室で食と農の杜づくり課の峯村さんに茹で方を教えてもらいながら調理に挑戦しました。



枝豆はおいしかったね。

身土不二（しんど・ふじ）

今年度も指導して頂いている「食と農の杜づくり課」のコンセプトは、「人は、生まれ育った土地や環境と密接な関係にあり、その土地からとれたものを食べるのがもっとも体によい」という「身土不二」の考えです。

その「身土不二」の考えに基づいて小学校で行われる事業が「教育ファーム」です。「教育ファーム」は、生産者（農林漁業者）の指導を受けながら、作物を育てるところから食べるところまで、一貫した本物体験の機会を提供する取り組みです。体験を通じて自然の力やそれを生かす生産者の知恵と工夫を学び、生産者の苦勞を学び、生産者の苦勞や喜び、食べものの大切さを実感をもって知ることを目的とし、「人」「自然」「文化」をテーマにした「生きる力」を養う本物体験プログラムとして実施しています。

今、子どもたちがこの地で行っている4年生の「大豆づくり・味噌づくり」や5年生の「米づくり」が、有機栽培等安心安全な作り方をしたり、将来の農業の担い手になるための興味関心を持ったりする機会となり、その体験的な学びが、子どもたちの「食への変容」を生みだし、将来にわたり人々の健康、心の健康、農業の健康へと繋がっていくことを期待したいと思います。

北杜市が推進する地産地消とフード・マイレージ

フード・マイレージとは、英国の消費者運動家ティム・ラングが1994年から提唱している概念（“Food Miles”）で、生産地から食卓までの距離が短い食料を食べた方が輸送に伴う環境への負荷が少ないであろうという仮説を前提として考え出されたものです。具体的には、輸入相手国からの輸入量と距離（国内輸送を含まず）を乗じたもので、この値が大きいほど地球環境への負荷が大きいという考えです。